

単元の主張

身の回りにある事象について観点を定め、データを分類整理して表やグラフに表すことで、表の数値やグラフの形状から資料の特徴を判断できるなど、データの特徴を捉え考察したり、見いだしたことを表現したりできる。また、収集したデータや、表やグラフから分析したものが、本当に必要な情報かどうかを判断できるようにもしていきたい。グラフの解釈について、伝える相手を納得させるために、根拠を明らかにしながら論理的に説明する力を養っていきたい。さらに、日常生活場面を統計的に分析することにより、自分たちの生活改善を図っていきたい。

1. 単元デザイン

【特別活動】
・学級目標をふりかえろう → クラスをよりよくするためには？ → 直していきたい課題をはっきりさせよう → 何を調べたら解決できるだろうか？

①	②	③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	⑨ ⑩	⑪ ⑫
<ul style="list-style-type: none"> ・日常の問題解決 ・課題把握 (・調査の計画) 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を分類整理する方法の理解 ・資料を分類整理して表に表す 	<ul style="list-style-type: none"> ・棒グラフのかき方の理解 ・棒グラフのかき方の習熟 ・目盛りの取り方の違う棒グラフについての考察・分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・解決したい課題を棒グラフに表す ・棒グラフの作成 ・棒グラフの有用性の感得 ・棒グラフについての考察・分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な二次元表を読む ・二次元表の有用性 ・学習内容の習熟
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを取って調べる計画を立てる。 ・どのように調査をするかを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを取り、表に分類整理する。 ・アンケート結果を基に、データを分類整理して表に表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集めたデータを基に棒グラフを作成する。 ・作成したグラフから何が読み取れるかを話し合う。 ・別の課題でもアンケートを取り、データを基に、棒グラフに整理し、習熟を図る。 ・棒グラフに表すことで抱えている課題を明らかにする。 ・一目盛りの大きさの異なる棒グラフを読む。 ・週に一回みんなで遊ぶ日を作ることを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートのデータを基に、表に整理する。 ・集めたデータを基に棒グラフを作成する。 <p style="text-align: center;">本時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフを基に、課題を分析し、改善・解決していく方法を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データを基に、一次元表を組み合わせた簡単な二次元表を読む。 ・一次元表と二次元表を比較し、二次元表の良さについて話し合う。

	①棒グラフの特徴やその用い方の理解をすること			
	①データを分類整理し、表に表して読んだりすること			
	②表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現すること			
	③目的に応じて資料を集めて分類整理したり、それを表やグラフなどに分かりやすく表現したり、特徴を調べたり読み合ったりできるようにする			
	③的確な判断をしたり、合理的な予測をしたりしようとする態度			
	③グラフのよさを実感し、日常場面へ活用する態度			

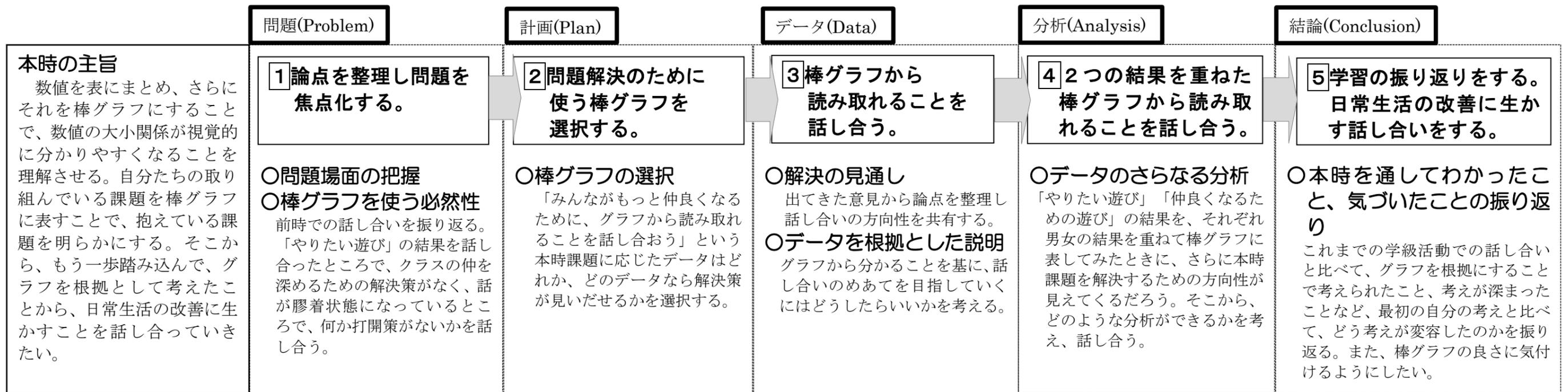
育成する資質・能力

2. 単元で育成する資質・能力

<p>① 生きて働く「知識・技能」</p> <p>(ア)日時の観点や場所の観点などからデータを分類整理し、表に表したり読んだりすること。</p> <p>(イ)棒グラフの特徴やその用い方を理解すること。</p>	<p>②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」</p> <p>(ア)データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現すること。</p>	<p>③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの問題解決に進んで統計を活用しようとする ・客観的なデータに基づいて合理的に判断しようとする ・表やグラフなどの統計的な表現を多面的に見ようとする ・グラフのよさを実感し、日常場面へ活用しようとする
<p>第2学年までのグラフについての指導を基に、第3学年では、棒グラフについて、数量の大小や差などを読むことができるようにする。観点から分類の項目を選び、資料を目的に合った手際の良い方法で、分かりやすく整理する。さらに、最大値や最小値を捉えたり、項目間の関係、集団のもつ全体的な特徴などを読み取ったりすることができる。アンケート結果が記録されたもののみでは、どのような特徴や傾向があるのか分かりにくいいため、観点を定めて表やグラフに表すことで、特徴や傾向が見えるようにする。</p>	<p>データをどのように分類整理すればよいかについて、解決したい問題に応じて観点を定める。また、自分たちの生活する身の回りの様々な事象における、解決したい問題に応じて定めた観点によって、データを表に分類整理したり、グラフにまとめたりすることで特徴や傾向を捉え考察することができる。さらに、部分と部分や、複数のグラフを比べ、同じところや似ているところ、少し違うところや大きく違うところなどを見だし、表現できるようにするとともに、伝え合うことで様々な考えがあることに気付くことができるようにする。</p>	<p>グラフの目盛りをただ読んだり、かいたりすることだけでなく、表やグラフを考察し、そこから言えることについて考える。また、分かったことからどうしたらよいか、目的を解決するためにその先のことについても考えながら生活場面と結び付け、自分事として問題を解決できる。</p> <p>第3学年の表や棒グラフを扱う際にも、ただデータを表やグラフに表して読み取る学習をするのではなく、文脈や目的がある中でデータを扱い、表やグラフに表して分析することを通じて問題を解決する活動を行ってほしい。</p>

3. 本時について

本時目標 複数の棒グラフを組み合わせたグラフの分析を基に、多様な見方から意思決定し、日常生活の改善に生かそうとすることができる。



本時で働かせる数学的な見方・考え方 解決したい問題に応じて観点を設定し、データを整理したり、表やグラフを用いて考察したりする。

< 板書計画 >



問題(Problem) 計画(Plan) データ(Data) 分析(Analysis) 結論(Conclusion)